

新型コロナウイルス対応消毒業務の取り組み

—第37回日本ペストロジ学会北海道大会—

(公社)東京都ペストコントロール協会 佐々木 健

新型コロナウイルス 対応消毒業務の 取り組み

公益社団法人東京都ペストコントロール協会 ○佐々木 健 渡邊 徹
大山 克幸 奥村 龍一
清水 一郎

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はありません

新型コロナウイルスの消毒対 応

- ▶ 2020年1月に感染症予防衛生隊に救急車消毒の出動要請
- ▶ 中国・武漢からの帰国者一時滞在宿泊施設の消毒 2020年2月
(日本ペストコントロール協会)
- ▶ ダイヤモンドプリンセス対応の警備機動隊トイレカーの消毒 2020年2月
- ▶ 救急車、患者移送ヘリコプター・ジェット機、コロナタクシー 以下2020年1月～
軽症者宿泊療養施設
- ▶ 害虫相談所依頼の事務所、保育施設等 他、協会の自社契約現場等

救急車・軽症者宿泊療養施設の出動延べ人数

2020年 1月～12月 **2420人** → これまでの訓練等によって迅速に対応

2021年 1月～10月 **8463人** (2021年10月現在)

これまでの準備だけでは困難な状況となった

はじめに

- ▶ ペストコントロール業務では、害虫の防除だけでなく、感染症に関連して微生物汚染に対応した消毒業務を行うことがある
- ノロウイルス等の感染者使用施設、汚水流出後の施設消毒(災害時等)等感染症の消毒業務はペストコントロールにおける重要な業務の一つである

東京都では

- ▶ 1999年に感染症法が施行 東京都防疫所が廃止
- 行政に代わって民間で消毒業務を行う
- ▶ 協会：感染症予防衛生隊を組織 (協会員で対応可能な会社による) 東京都と消毒に関する協定締結
- 定期的に研修・訓練を行い、連絡体制を準備、感染症対応マニュアル作成



新型コロナウイルス対応消毒の装備 (PPE)

- ▶ つなぎ防護服 (デュボン社タイベックⅢ型相当)
- ▶ ゴーグル → 曇り止め必須 手で顔に触れることがあるため
- ▶ シューズカバー、インナー・アウター手袋
- ▶ ゴミ袋 (2重にして使用後の防護服を廃棄)

- ▶ この装備により、濃厚接触者とならない
- 他のペストコントロール現場に配慮
コロナ消毒作業のスタッフを寄越すな!



公益社団法人日本ペストコントロール協会
新型コロナウイルス消毒の手引き (2020)

東京都ペストコントロール協会 感染症予防衛生隊の消毒業務

- ▶ 東京都との協定、害虫相談所業務としての消毒業務
- ・救急車等の消毒業務に関わる協定 赤痢、腸チフス、疥癬 (2005年、2008年他)
- ・一類感染症等患者移送車両等の消毒業務に関する協定 エボラ出血熱疑い (2014年)
- ・蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定 デング熱 (2014年)
- ・河川氾濫等水害後の家屋消毒 (2019年)
- ・ノロウイルス、赤痢や肝炎等感染者利用後の施設消毒 (2018年他)
- いずれも出動頻度は少ない

2020年から始まるコロナ禍によって状況は一変した

消毒方法 救急車

- 薬剤 70%エタノール (0.1%次亜塩素酸ナトリウム 以下次亜)
- 機材 全自動噴霧機 (B&Gハンドスプレーヤー等)、ハンドスプレー
- 資材 防護服、ウェス (ワイブ、タオル等)、バケツ、ブルーシート等
- 人員 2名
- 手順 救急隊に聞き取り (運転席の汚染有無等)
- 患者へ使用したバッグ類の消毒
- ストレッチャー、毛布類の消毒
- アイソレーターシートの消毒 (次亜代替可)
- 傷病者室の消毒 (床面次亜代替可)
- 表面が見える箇所は全て拭拭する
- 防護服、使用したウェスの廃棄処理



消防職員のための消毒・滅菌・感染症マニュアル (2018)
改訂版 感染症マニュアル (公社) 東京都ペストコントロール協会 (2020)

→ 各社で施工方法にズレ 研修会にてマニュアル作成・更新

救急車の消毒



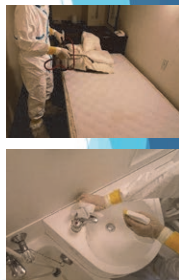
救急車消毒依頼件数の推移

- ▶ 新規陽性者の増加に伴い、救急車消毒の出動数は増加
 - ▶ 第3波、第4波では急激な増加に対応できないことも
 - 会員増や連絡体制の強化
- 緊急連絡や現場での変更事項等の共有が求められた
救急車消毒出動数と新規陽性者数の推移



消毒方法 軽症者宿泊療養施設

- 薬剤 70%エタノール、0.1%次亜塩素酸ナトリウム
 機材 全自動噴霧機 (B&Gハンドスプレーヤー等)、ハンドスプレー
 資材 防護服、ウェス (ワイプ、タオル等)、バケツ等
 人員 監督者1名 他、4~11人程度 施設規模による
 手順 ミーティング、班編成
 宿泊者ゴミ回収、シーツ、枕カバー回収
 ドアノブ、洗面台、机、椅子、クローゼット扉のエタノール清拭
 カーテン、寝具類、床面、バスルーム床面の次亜噴霧



→後に研修会にてマニュアル作成・更新
 協会のホームページ、会員専用サイトで閲覧可能にした

連絡・出動体制

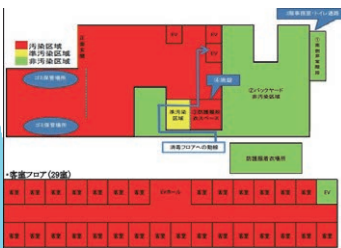
救急車出動体制について

- ▶ ブロック制 (当初のマニュアル)
 依頼から1時間半以内対応 → **時間がかりすぎる**
- ▶ 感染症委員長から電話による連絡 (一本釣り) 昼間・夜間・深夜 **委員長の負担増**
- ▶ 夜2020年5月より17:00~翌9:00の夜間・深夜待機シフト 14社 **消防庁より直連絡**
 → **依頼がなければ待機料が発生**
- ▶ 昼受付事務員 → メールでの一斉募集体制 **チャットアプリによる施工確認**
 軽症者宿泊療養施設について (請求まとめ、現場情報の共有)
- ▶ メールによる一括連絡体制
 日程はタイト (依頼から4日~7日後程度で実施)



軽症者宿泊療養施設の消毒

エリア分けによって、動線を厳しく管理
 患者との接触禁止 → 作業後の撤収待ち **夏季は負担**



おわりに

- ▶ これまで定期的な研修によってコロナ禍初期の迅速な対応が可能
 - コロナ禍での依頼量の増加により対応困難化
 - **連絡体制強化や会員増加によって解消**
- ▶ 研修会を利用して、会員の意見を聞き、**マニュアルを更新した**
- ▶ **チャットアプリの利用**が、施工完了確認、現場変更時の連絡について多役に役立った
- ▶ 感染症対応の消毒業務は、緊急性が非常に高く、状況も変化
- ▶ **連絡対応体制、施工マニュアルの柔軟な更新、対応記録の共有**が重要
- ▶ 緊急事態宣言下では昼間、夜間深夜とも待機を協定に盛り込むことが必要